

事業概要シート

施策： 高齢者の生きがいくりと介護予防の推進

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 食の自立支援事業	現状維持	予算額	2,646 千円
		《 2,616 》	
財源内訳	国庫支出金	1,016 千円	
	県支出金	508 千円	
	地方債	0 千円	
	その他	5 千円	
	一般財源	1,117 千円	

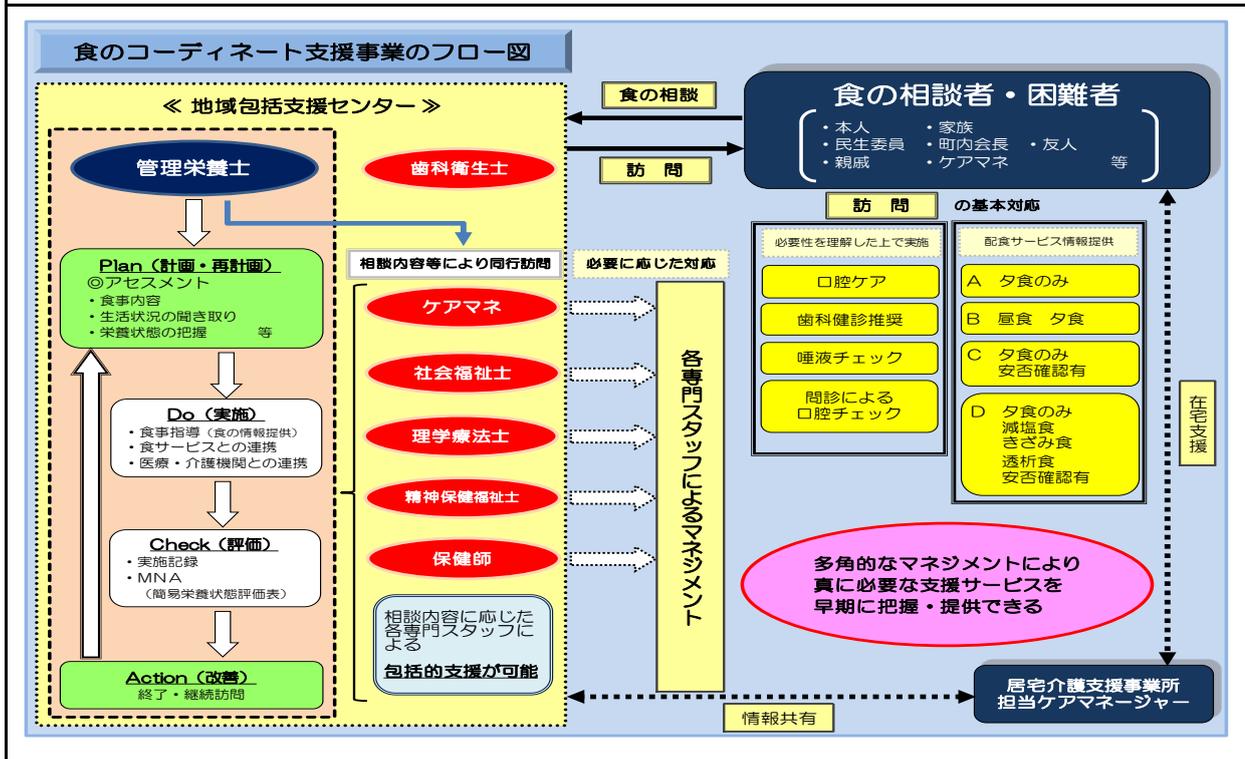
【事業の目的・概要・対象】

1) 目的 身体的又は生活環境の理由により食事の調理・確保が困難な大村市内の65歳以上の高齢者宅を訪問し、低栄養や栄養の偏りがみられる高齢者、認知機能低下や意欲の低下等により調理に支障がある高齢者に、個別に食の自立プランを提供するとともに、歯科衛生士と同行し支援することで誤嚥性肺炎や咀嚼力低下を防ぐなど、食生活の改善及び健康の増進を図ることを目的としている。

2) 概要

- ① 管理栄養士が食のコーディネートを実施 (PLAN・DO・CHECK・ACTION)
- ② 歯科受診率の向上
- ③ 民間業者への幅広い活用と食の種類や内容の充実
- ④ 多職種を活用した食のコーディネート支援

3) 対象 大村市の65歳以上の高齢者



【背景】

急速な高齢化の進展に伴い、高齢者が要介護状態になる原因として、脳卒中をはじめとする「疾病」、「認知症」や「転倒」と並び、「高齢による衰弱」が挙げられる。これは、低栄養との関連が極めて強く、高齢者が陥りやすい「低栄養」、「栄養欠乏」の問題の重要性が高まっている。

担当課	福祉保健部 長寿介護課	問合せ先	0957-53-8141 (内線：89-201)
-----	-------------	------	--------------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	食生活の改善に関する相談件数	目標値 件	260	300	300	300	300
②	訪問指導実施件数	目標値 件	213	300	300	300	300

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	栄養状態が維持または改善した高齢者数	目標値 人	135	140	140	140	140
②		目標値					

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	9,222	1,609	1,346	2,616	2,646	2,646	20,085
国庫支出金	3,640	625	523	1,018	1,016	1,016	7,838
県支出金	1,821	313	261	509	508	508	3,920
地方債							0
その他	1,940	6	4	7	5	5	1,967
一般財源	1,821	665	558	1,082	1,117	1,117	6,360
人件費	3,889	3,262	3,333	2,527	2,527	2,527	18,065
職員	0.49人	0.42人	0.43人	0.32人	0.32人	0.32人	2.30人
時間外勤務	93h	150h	103h	100h	100h	100h	646h
嘱託員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	13,111	4,871	4,679	5,143	5,173	5,173	38,150

妥当性 (市の関与)	高齢者が住み慣れた地域で自立して生活していくためには、日々の食生活の中で個々の疾病予防を考慮しながら、食の確保を行っていくことは必要である。 行政が進める健康増進と介護予防の推進策において、虚弱な高齢者が食事による必要なカロリーを安定的に摂取する環境の整備の中心に位置付けている。
有効性 (施策貢献度)	訪問指導により対象者が栄養状態の改善が見られるなど、健康増進と介護予防の効果は高い。 在宅高齢者の日常生活における自立度を高めることで、健康増進と介護予防等高齢者の保健福祉の向上が図られる。
効率性 (コスト)	この事業は、第6期介護保険事業計画に基づき、平成27年度から平成29年度までの3か年間における地域支援事業の枠内で実施している。平成30年度も地域支援事業枠内としている。 配食サービスの利用料は、民間の宅配を活用しており全額利用者負担としている。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり